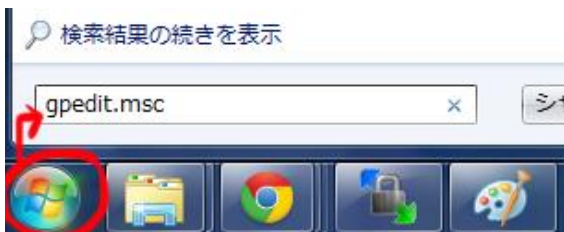


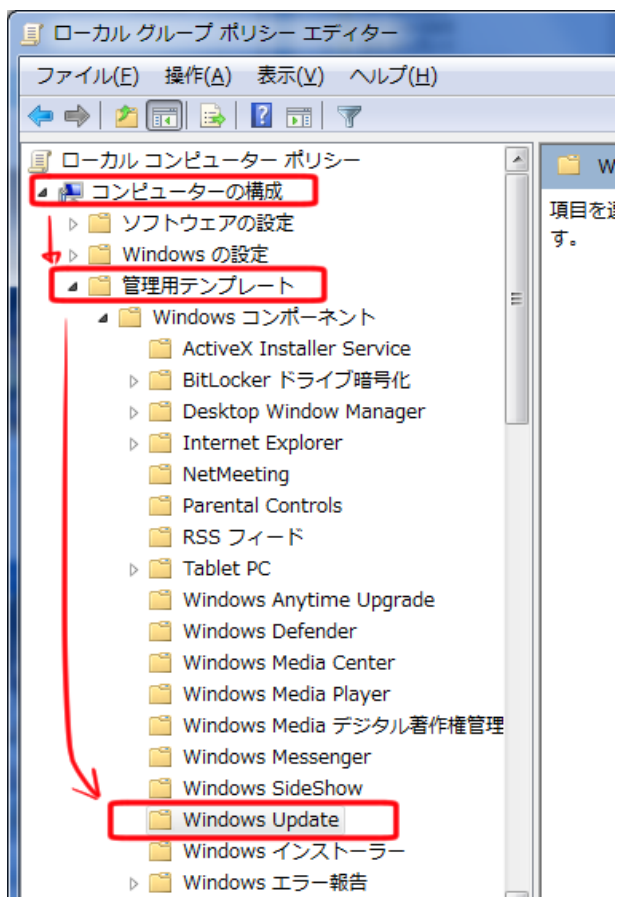
■Windows10へのアップグレードを抑止する

1. 高度な設定①: 設定画面から変更する方法



コマンドを直接実行して「ローカルグループポリシーエディター」を開きます。

「gpedit.msc」と入力して対象のプログラムを実行すると、ローカルグループポリシーエディターが起動します。

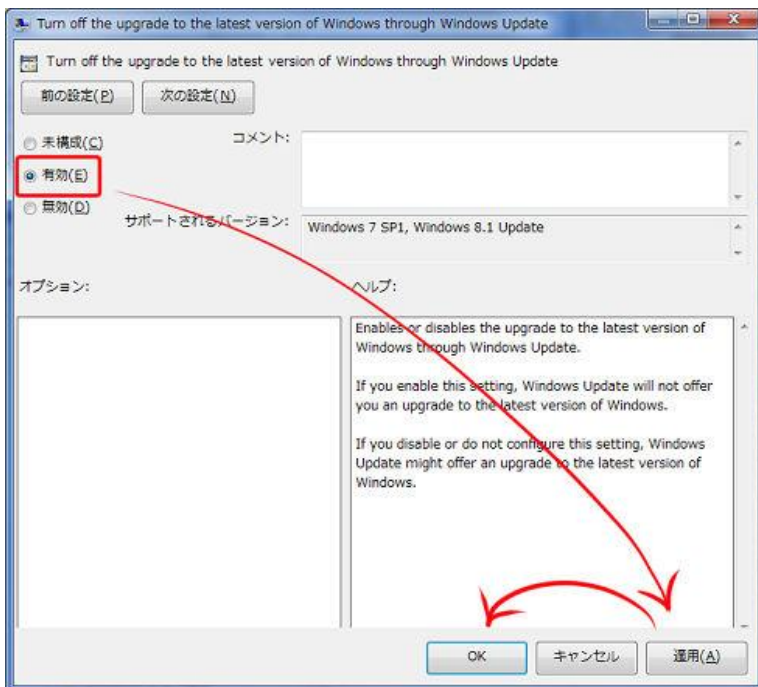


次に、「コンピューターの構成」→「管理用テンプレート」→「Windows コンポーネント」→「Windows Update」を開きます。

■Windows10へのアップグレードを抑止する

設定	状態
[Windows シャットダウン] ダイアログ ボックスで [更新...	未構成
[Windows シャットダウン] ダイアログ ボックスの既定の...	未構成
Windows Update の電源管理を有効にして、システムの...	未構成
自動更新を構成する	未構成
イントラネットの Microsoft 更新サービスの場所を指定する	未構成
自動更新の検出頻度	未構成
Turn off the upgrade to the latest version of Windows...	未構成
非管理者による更新の通知の受信を許可する	未構成
ソフトウェアの通知を有効にする	未構成
自動更新を直ちにインストールすることを許可する	未構成
推奨される更新の自動更新を有効にする	未構成
スケジュールされた自動更新のインストールで、ログオン...	未構成
スケジュールされたインストール時の再起動を再確認する	未構成
スケジュールされたインストールの再起動を遅らせる	未構成
自動更新のインストールの予定を変更する	未構成
クライアント側のターゲットを有効にする	未構成
イントラネットの Microsoft 更新サービスの保存場所にあ...	未構成

右側(右ペイン)にある
「Turn off the upgrade to the latest version of Windows through Windows Update」
の項目で右クリック「編集」などで、設定画面を開きます。



「有効」のところにチェックを入れて、適用→OK で全て完了です！！

ただし、これには若干の注意が必要そうで、「アンインストール」した場合はアップグレードそのものが不可能になるのに対して、今回の方法では能動的にWindows10へのアップグレードを実行した場合には普通にアップグレードができてしまいます。

毎回設定しなくて済むのは楽で良さそうですが、どれくらい消えてくれるのかは様子を見ないと分らなさそうです。

■Windows10へのアップグレードを抑止する

■Windows10へのアップグレードを抑止する

2. 高度な設定②:レジストリからブロックする方法

上述のポリシー設定をレジストリで行う場合には以下値を設定します。

キー : HKEY_LOCAL_MACHINE¥Software¥Policies¥Microsoft¥Windows¥WindowsUpdate
名前 : DisableOSUpgrade
種類 : REG_DWORD
値 : 1

このレジストリをコマンドで適用する場合には以下の reg から /f までのコマンドを、
管理者権限でご実施いただきますようお願い致します。

```
reg add HKEY_LOCAL_MACHINE¥Software¥Policies¥Microsoft¥Windows¥WindowsUpdate  
/v "DisableOSUpgrade" /t REG_DWORD /d 00000001 /f
```